

商 況

販賣旬報 第 83 號 昭和 4 年 2 月 21 日

昭和 3 年中内地生産及輸入概観一激増 下表は昭和 3 年自 1 月至 12 月内地生産及輸入數量を昭和 2 年のそれと比較したもので備考にある通り昭和 3 年の分は未だ正確ならざるものもあるが不取敢參考迄に掲記した。

昭和 2 年、3 年本邦鋼材品種別供給數量比較表 (單位噸)

品 種	區 分	昭 和 2 年				昭 和 3 年						
		製鐵所	民間	内地生産計	輸入	合計	製鐵所	民間	内地生産計	輸入	合計	
條 鋼	丸 角 平 山 工 溝 其 小	鋼	102,275	238,177	340,452	57,230	397,682	105,917	321,779	427,696	43,538	471,234
		鋼	19,860	9,529	29,389	6,983	36,372	18,247	6,801	25,048	5,830	30,878
		鋼	37,584	32,606	70,190	19,152	89,342	56,124	16,471	72,595	17,483	90,078
		鋼	94,492	65,900	160,392	38,193	198,585	98,114	93,765	191,879	21,659	213,538
		鋼	15,492	—	15,492	36,495	51,987	27,334	—	27,334	14,368	41,702
		鋼	32,773	—	32,773	26,096	58,869	32,118	—	32,118	9,447	41,565
		計	5,114	1,096	6,210	22,012	28,222	2,126	6,989	9,115	27,273	36,388
	計	307,590	347,308	654,898	206,161	861,059	339,980	445,805	785,785	139,598	925,383	
鋼 板 類	鋼 板 0.7m/m 超 鋼 板 0.7m/m 以下 硅 素 鋼 編 鋼 錳 力 板 ユニバーサル平 小	鋼	137,296	100,089	237,385	49,562	286,947	148,031	135,380	283,411	69,973	353,384
		鋼	19,235	63,632	87,867	175,392	263,259	20,107	69,438	95,545	183,468	279,013
		鋼	1,469	—	1,469	10,210	11,679	3,375	—	3,375	9,706	13,081
		鋼	—	—	—	4,512	4,512	2,497	—	2,497	7,677	10,174
		鋼	14,706	—	14,706	61,052	75,758	16,390	—	16,390	72,113	88,503
		鋼	4,195	—	4,195	—	4,195	1,887	—	1,887	—	1,887
		計	176,901	168,721	345,622	300,728	646,350	198,287	204,818	403,105	342,937	746,042
軌 條 及 附 屬 品	重 軌 輕 軌 繼 目 小	條	146,860	—	146,860	65,760	212,620	177,960	—	177,960	23,943	201,903
		條	19,091	4,139	23,230	23,094	46,324	16,938	4,092	21,030	21,510	42,540
		板	5,908	—	5,988	4,096	10,034	12,563	—	12,563	2,188	14,751
		計	171,939	4,139	176,078	92,950	269,028	207,461	4,092	211,553	47,641	259,194
線 鋼 其 他 合 計	材 管 他 計	材	49,032	5,395	54,427	109,086	163,513	50,668	5,649	56,317	172,644	228,961
		管	—	47,780	47,780	52,003	99,783	—	59,777	59,777	53,859	116,636
		他	17,468	11,255	26,723	4,792	31,515	16,720	10,932	27,652	4,939	32,591
計	720,930	584,598	1,305,528	765,720	2,071,248	813,116	731,073	1,544,189	761,618	2,300,807		

備考 1. 製鐵所は壓延實績に據る 2. 民間は主として鐵鋼協議會調査に據る但し昭和 3 年分中川崎葺合工場、淺野造船、大阪製鐵の 3 社は報告未提出の分ありて推定せり、 3. 輸入は大藏省調査のものを當所三港輸入數量に依り按分せり、 4. 昭和 3 年分は正確を缺くものあるを以て後に到り訂正することあるべし、 5. 「其他」は主として車軸、外輪及鍛成品等とす。

先づ兩年に於ける市場への供給總數量を見れば昭和 3 年は前年に比し 23 萬 4,500 餘噸の増加を示して居る。猶昭和元年が約 200 萬噸なりしに比すれば昭和 3 年の供給數量は慥かに激増した事が窺はれる。

次に供給者別に就て見るに、内地生産高は製鐵所約 10 萬噸弱、民間約 15 萬噸弱の増産で合計約 24 萬噸弱の増加である。然して輸入は約 4,000 噸の減少であるが内地生産力にて殆ど左右し得ざる品種を除外すれば寧ろ激減の傾向にあると云ふことが出来る。即ち當所の外注防遏主義の徹底と官民協力の各種施設が如何に力強いかに察知せられよう。其證左として各品種別に探究して見ると、先づ條鋼の部の輸入に於ては 6,600 噸の減少を示し然も其内容を觀察するに「其他」を除けば總て減少で「其他」の大部分は内地生産者が一指も染めざるシートパイルである、若し之を除けば 7 萬噸の減少となる、然るに内地生産は合計 13 萬噸の増加で特に丸鋼は 8 萬 7,000 噸の激増を見て内地生産のみにて僅に前年度の總供給數量を凌駕して居る。近來丸鋼生産協定の聲を聞くのも此邊に原因して居るのではあるまいか。其外注目に價するは工形、溝形の減少である、消費統計を有せざるを以て其原因を究むるに困難なるも 1 ケ年 1 萬噸乃至 1 萬 5,000 噸の減少があつても市場に何等の状態を見ざるより察すれば恐らく他の品種を以て代用

せらるゝにあらざるや研究を要する問題ならん。

次に鋼板類に移れば 0.7 耗以上は約 7 萬噸と云ふ驚異的增加を見た、其原因是造船界の勃興も數ふべき主要なる原因とは思はるゝも、シーヤリング工場が近來増加することより推定すれば型鋼に代つて建築方面の需要が漸次増加するのではあるまいか、猶鉾力板の増加率も可なり目立つて居る。鋼板類は内地生産も輸入も共に増加の傾向にあるのが他の品種と異なる現象である。

軌條類に於ては總供給數量は寧ろ減少であるが、輸入は殆ど半減し、内地生産が之れに代つて遂に 20 萬噸に到達した。線材は製品たる釘、針金の新需要地開拓と相俟つて當然増加すべきものであるが昭和 3 年の増加は實に目醒ましいものであるが未だ内地生産にては奈何とも爲し得ず徒に輸入の跳梁に委すのは誠に残念な次第である。

鋼管も需要の増加は見るべきものがあるが種々の原因により内地生産力の大なる伸張を見ることを得ず、不相變相當の輸入數量がある。

之れを要するに全般的に見て本邦に於ける製鐵業も漸く確乎たる基礎の上に立つて發展しつつあるのが觀取せらるゝと共に、逐次輸入を驅逐して遂には東洋をして我市場たらしめるのも遠い將來ではないことが窺知せらるゝのは何より喜ばしき事と思ふ。又東洋に於て歐洲品と競争して凱歌を擧ぐるに到るにあらざれば我國の鐵鋼の獨立は到底成立し得ざるものであらう。

2 月中鋼材大陸市況 1 月中に於ける大陸鋼材界は製品に於ては大なる需要の變化も認められざりしも、旬報 81 號掲記の獨佛間に於ける半製品の問題の爲供給の順調を欠き、其爲前月に比し一擧に 4 志方の反撥を見、其儘の保合状態を續けて居る。

即ち年末に於ては、大なる弱氣材料もなきに拘らず、只獨逸工場の開始と年末の手控と云ふ理由の下に反動安を現出したが年改まると共に休日氣分も例年よりも早く去り、其上例の半製品薄により製品も急騰し、佛國も國內需要の爲に競争の姿を市場より消し型物も幾分の引き返しを見せた。

中旬に於ては半製品の缺乏益々甚だしく、製品に於ては買手側に早積を希望するもの多く現はれ更に鐵道材料の大量注文もあり爲に製品市場も一段と硬化し遂に棒鋼 6-5-0 を呼ぶ者あるに至つた。

下旬に入りても此状態に變化なく南米よりの注文もありたる爲高値に保合ひたる、猶月末=ニューヨークよりの電信によれば米國市場に日本川崎造船所よりシート、バー 1 萬 5,000 噸の引合ありたる由、然し大陸市場には半製品引受の餘地は今の處見出せず、製品も此上海外よりの注文に接することあれば更に硬化するものと見られて居る。

The Iron and Steel Exchange の相場下の如し (f. o. b. アントワープ)

月日/品種	棒 鋼	工 形	大型山形	鋼板 $\frac{3}{16}$ "	ピレット 4"
1 月 10 日	6-4-0	5-1-0	5-10-0	6-6-0	4-18-0
1 月 17 日	6-4-0	5-1-6	5-10-6	6-6-0	.
1 月 24 日	6-4-0	5-1-6	5-11-0	6-6-0	4-19-0
1 月 31 日	6-4-0	5-1-6	5-11-0	6-6-0	

5 月渡先物協議會——棒鋼 2 圓上げ 5 月渡先物協會は 2 月 9 日大阪平和俱樂部に於て開催す。

外註値段、希望値段及本所決定値段下の通り

品名\區分	冲著値段	河岸著値段	希 望	本所決定値段	備 考
棒 鋼	7-15-6	101.80	100	102	2 圓上げ
小中型山形	7-6-0	96.87	95	97	1 圓上げ
大型山形	7-0-6	94.03	93	94	据 置
工 形	6-15-0	91.18	91	92	"
溝 形	7-6-0	96.87	97	97	"
鋼板 四、五耗	7-17-3	102.60	103	103	"
" 三、二耗	8-3-3	105.80	106	106	"
" 二、三耗	8-6-3	102.30	113	113	"
" 一、六耗	8-8-3	113.89	115	115	"
線 材	7-17-0	98.91	98	99	1 圓上げ

鉄力板百封度	1-0-2	11-36	11-30	11-40	10銭上げ
〃百七十封度	1-16-10	20-68	20-70	20-80	〃
備考	爲替 $1/10-13/16$				

海外入電は大體に於て強調を報じ、只鋼板に於て稍軟調なるものあり、爲替も前月と不變、爲に棒鋼2圓上げ、中小型山形及線材を1圓上げ、其他は据置とし、又鉄力板は其後内地市況の強調も加味して各10銭上げと決定せり。

鉄力板市況——高値保合 昨秋以來海外強調なるに拘らず、内地は外註品の荷凭れにより軟調裡に呻吟して居た鉄力も、其後の手當薄と在荷の消化に伴い1月に入ると共に見直し、2月初旬に於ては各種共品薄状態を現出し爲に暫く振りにて反撥し、現在に於ては目先相當の入荷豫想もあることゝて此上の上伸は望み得ざるも眼前需要季節を控へて居る故其儘の高値保合裡に推移して居る。

2月中上旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

港	寸法	細丸					計	上旬	中旬	B.W.G No. 5	線材		上旬計
		1/4"	5/16"	3/8"	1/2"	5/8"					其他	計	
神	戸	181	254	579	221	652	1,887	1,911	3,046	374	3,420	5,727	
横	濱	61	221	828	185	264	1,559	2,155	273	50	323	832	
	計	242	475	1,407	406	916	3,446	4,066	3,319	424	3,743	6,559	
	上中旬計	340	498	1,611	643	964	4,066	—	6,008	551	6,559	—	

備考 横濱自2月6日至15日、神戸自2月8日至17日

細丸。上旬僅少な入荷であつた細丸も今旬は可成りの數量に昇つた。如何に豫期した事とは云へ此霜枯月では地場の軟勢は止むを得まい。

線材。東京は入荷至つて尠なく此分では今迄の在荷を消化盡すのも餘り遠い將來ではあるまいと見られて居る。

大阪稍下轄を示すは豫期した入荷減を見られなのに原因して居る様である。

東西市況——底入か 時節柄消化力の鈍調なるは前旬以來變りなきも、猶地方筋が舊正月の事として一層此情勢を助長して荷動きは益々鈍い模様である。然し建築需要の先驅たる鐵骨用としての型物に弗々と大口の見積が市場に現はれ出した事でもあり、廳ては鐵筋用鋼材需要の擡頭も期待せられる事として一般に此邊が底ではあるまいかと云はれて居る。従つて先行のものに對しては相當強氣構と見られて居る。

東京市況——丸鋼。細丸は相當の入荷を擁して未だ軟化の氣勢を改めず、10圓2—30銭賣の聲あり、地場も至つて冷淡である。ベース物は生産制限の聲と、入荷品との逆轄の關係により漸く底を衝いた模様、猶先高氣配で4月物は10圓丁度と呼んで居ると云はれて居る。

角、平鋼。角の氣配は強く、平は九州品及び伸鐵の入荷により品潤澤となり前旬來の軟調を續けて居る。

型鋼。中型等山も生産の調節と需要の勃興と相俟ち漸く在荷減少の徴を示し、永い間の弱氣疲れから、どうやら一相場を現出しそんな形勢を馴致して居る様に見られて一般から盛に氣を持たれて居る。大型物は小締り、不等山も手持薄により駭りにて底意強く、 $1/2 \times 3 1/2 \times 5$ は品薄にて10圓20銭を呼ばれて居る、溝、工は此等の好勢を他所に見て不相變の沈靜状態を繼續して居る、之れも色々綜合して見ると、どうも需要の傾向が他に轉換した様に見られる。

鋼板。 $1.6 \times 3 \times 6$ 及び $3.2 \times 4 \times 8$ が入荷尠なく好調を續け、 $6.0 \times 5 \times 10$ がやはり手持薄から上伸した外平凡である。

大阪市況——丸鋼。當所5月渡の高値發表も地場には何等の反響もなく依然としてベース物焦付、此閑散期に目先荷問への豫想から此状勢は不得已のものとして諦められて居る。**角、平鋼。**角は品薄と入荷品の原價高に刺戟されて好化し、平は區々。

型鋼。中形等山は大手筋の申合せは崩れざるも市場を統制するだけの力はなく市中には9圓10銭揃みの賣物も現はれたと云はれ、小形物は外註品入荷に小緩み、大形は引き續き需要の擡頭により幾分の引締り氣味、不等山まちまちながら $3/8 \times 5 \times 3$ は品薄の爲11圓ドタと異彩を放ち工形ベース物は冴へざるも大形物は先づ順調、溝形の不振は不變、只例の軌條工場物に一抹の生氣を見せて居るのみ、**鋼材。** 1.6 荷凭れに不振を極む。 3.2×4.5 は比較的品薄にて好調、厚板は品薄の割に不冴、最近川崎造船に3.4月大減産の噂あり市場頓に硬化の徴見ゆ、**線材。**順調の入荷に思ふ程の反撥もなく平調に推移して居る。**鉄力。**は需要期に入りて強含みと云はれて居る。

東京大阪市中相場

(東京) 2月18日
(大阪) 2月15日

丸鋼		等邊山形鋼				工形鋼					
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	東京	大阪		
6 ^{m/m}	10-60	10-60	6 × 75 × 75			9-25	9-30	0-36" × 5" × 10"	9-40	9-00	
9	10-50	10-45	9 × 130 × 130			9-40	9-40	鋼板			
12	10-60	10-40	12 × 130 × 130			"	"	1-6 ^{m/m} × 3' × 6'	12-50	11-60	
19	9-85	9-80	15 × 150 × 150			9-50	9-70	1-6 × 4 × 8	11-90	11-50	
25	"	"						3-2 × 4 × 8	11-50	11-70	
50	10-30	10-60	不等邊山形鋼						3-2 × 5 × 10	11-30	10-90
65	10-60	10-50	3/8" × 2" × 3"			9-90	9-30	6-0 × 4 × 8	10-70	10-60	
			3/8" × 3 × 4			9-70	9-90	6-0 × 5 × 10	11-10	10-70	
9 ^{m/m} 角	11-50	11-00	3/8" × 3 1/2 × 5			9-80	10-70	9-0 × 4 × 8	10-90	10-60	
12	10-40	10-00	3/8" × 4 × 6			9-70	9-40	9-0 × 5 × 10	10-80	10-60	
15	10-30	10-40	1/2 × 4 × 6			9-80	9-60	薄鋼板(13枚)			
19	9-90	9-80	溝形鋼						米	72	715
38	10-10	9-60	1/4" × 2" × 4"			9-50	9-30	英	71	70	
			0-312 × 2 1/2 × 5			9-80	9-70	八幡	70	"	
1/4" × 1 1/2	10-80	9-80	3/8 × 3 × 6			"	9-50	鍍力板			
1/4 × 2	10-30	9-70	3/8 × 3 × 8			9-70	9-40	米	{ 170 ^{bs}	23-00	22-50
1/4 × 3	10-20	9-60	3/8 × 3 1/2 × 10			9-80	9-30	{ 100	12-80	12-60	
3/8 × 4	"	"	3/8 × 3 1/2 × 12			12-50	12-50	英	{ 170	22-50	21-80
1/2 × 4	"	9-70	工形鋼						{ 100	12-10	12-00
			1/4" × 3" × 6"			10-00	9-40	八幡	{ 170	22-50	22-20
m/m m/m m/m			3/8 × 6 × 12			"	10-00	線	{ 100	12-10	12-40
6 × 50 × 50	9-25	9-30	0-28 × 4 × 8			9-50	9-00	材			
6 × 65 × 65	"	"	0-35 × 5 × 12			10-80	10-00	No. 5#	103-00	101-50	

備考、單位 100 疋につき(置場渡値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鍍力板は 1 箱當り。

外國爲替市中相場

區分/月日	Feb.9	12	13	14	15	16	18	19	20
日 英	1/10-7/16	1/10-13/23	1/10-3/8	"	1/10-11/32	"	"	"	1/10-1/4
日 米	45-3/8	45-5/16	45-1/4	"	45-3/16	"	"	"	75
日 佛	11-50	"	"	"	"	"	"	"	"

備考 日佛は正金 T. T. とす

昭和4年1月當所製品揚地別發送高 (單位噸)

品名	揚地別	阪神	京濱	當所	伊勢灣	山陰	内海沿	奥羽	關門	北海道	滿鮮	支那	臺灣	其他	合計
鋼材	官廳向	3,952	4,391	59	36	131	799	—	2,111	283	398	—	497	—	12,657
	民間向	21,012	16,852	4,898	1,783	—	104	274	480	337	15	—	—	—	45,728
	計	24,964	21,216	4,957	1,819	131	903	274	2,591	620	413	—	497	—	58,385
鋼片及鋼塊	副製品	799	1,897	2,722	31	—	548	—	4,180	—	—	—	—	—	10,177
	計	40	907	10,565	85	—	1,053	—	1,393	—	—	—	—	—	14,043
合計		25,803	24,020	18,244	1,935	131	2,504	274	8,164	620	413	—	497	—	82,605

販賣旬報 第84號 昭和4年3月1日

新たに米突化した製品 日本標準規格に準據して製鐵所製品が順次寸法から耗寸法に變更されてゐる。丸鋼、角鋼、等邊山形の鋼、Z形鋼の全部及其他の型钢の一部が既に耗寸法に變つた。

下左記寸法の製品は来る6月渡の分より新たに米突寸法を以て注文引受をなすことに決定した。

工形鋼	8	m/m × 300	m/m × 150	m/m	中間寸法	} 三大形工場所屬
"	11-5	× 300	× 150		指定寸法	
"	7-5	× 230	× 100		指定寸法	} 三大形工場所屬
"	7-5	× 250	× 125		中間寸法	
"	10	× 250	× 125		指定寸法	
溝形鋼	9	× 250	× 90		指定寸法	} 三大形工場所屬
"	11	× 250	× 90		中間寸法	

昭和四年一月中神戸、大阪、横濱、三港輸入鋼材寸法別總計表

單位、噸、噸以下四捨五入

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼													
丸鋼		1 1/16"	21	9 1/2"	2	3 1/4"	2	3/4"	76	1 3/4"	126	4" x 1.58"	10
1/8"	16	1 7/8	15	10	2	計	146	7/8	32	2	176	4 x 2	202
3/16	157	1 15/16	11	5 m/m	101	合計	10,717	1	103	2 1/2	126	5 x 1.75	30
1/4	411	2	54	6	305	角鋼		1 1/4	2	3	140	5 x 2 1/2	30
5/16	275	2 3/32	21	7	15	3/16"	30	1 1/4	82	3 1/2	100	6 x 1.92	25
11/32	1	2 1/8	1	7.50	152	1/4	58	1 1/2	71	4	17	6 x 3	121
23/32	56	2 7/32	2	8	47	5/16	75	1 5/8	14	5	69	8 x 3	59
3/8	470	2 1/4	11	9	1,984	3/8	47	1 3/4	48	6	58	9 x 3	29
13/32	1	2 11/32	23	9.50	25	7/16	20	1 7/8	27	100 m/m	100	12 x 3 1/2	60
7/16	12	2 1/2	108	10	1	1/2	43	2	116	計	3,309	100 x 50	106
15/32	1	2 5/8	19	12	199	5/8	39	2 1/4	8	造船材料		200	69
31/64	244	2 3/4	10	15	31	1 1/16	10	2 1/2	73	2 1/2	2	計	741
1/2	773	3	98	15.25	20	3/4	10	3	76	3	12	造船材料	
17/32	3	3 1/8	11	16	26	7/8	4	3 1/2	32	3 1/2	109	7" x 3"	4
9/16	5	3 1/4	46	18.50	20	1	3	3 5/8	17	4	1	8 x 3 1/2	80
5/8	1,807	3 1/2	94	19	46	1 1/4	0	3 3/4	7	5	10	計	84
3/4	1,036	3 3/4	37	21.50	20	1 7/16	1	4	31	6	13	合計	825
25/32	8	4	38	22	20	1 1/2	9	5	14	計	153	工形鋼	
7/8	659	4 1/4	8	25	26	2	16	6	59	合計	3,462	3" x 3"	60
15/16	14	4 1/2	53	28	5	2 1/4	2	27 m/m	1	不等邊山形鋼		6 x 3	24
1	160	4 3/4	16	計	10,571	2 1/2	2	31	1	3" x 2"	26	6 x 4 1/2	19
1 1/32	18	5	65	造船材料		3	6	35	2	3 x 2 1/2	39	6 x 5	12
1 1/8	26	5 1/4	12	13 3/32"	2	4	2	合計	1,463	4 x 2	1	7 x 4	113
1 1/32	10	5 1/2	54	19 3/32	14	5 m/m	10	半圓鋼	1	4 x 3	1	8 x 4	196
1 1/16	16	6	70	23 3/32	34	6	25	六角鋼	3	5 x 3	56	8 x 5	46
1 1/4	66	6 1/4	17	27 3/32	19	7.5	51	其他	60	5 x 3 1/2	24	8 x 6	47
1 3/32	10	6 1/2	17	1 3/32	14	9	32	棒鋼合計	12,867	6 x 4	53	10 x 6	21
1 5/16	16	7	12	1 7/32	3	14.5	122	型鋼		100 x 50	56	12 x 5	336
1 3/8	8	7 1/4	12	1 1/2	9	合計	623	等邊山形鋼		計	257	12 x 5 1/4	4
1 1/2	39	7 1/2	4	1 5/8	20	平鋼		3/4"	50	1	515	12 x 6	233
1 5/8	14	8	49	2 3/32	23	3/8"	50	1	659	6" x 3 1/2"	3	15 x 5 1/2	77
1 11/16	15	8 1/2	5	2 7/32	5	1/2	206	1 1/4	659	合計	259	15 x 7	11
1 3/4	56	9	108	2 1/2	1	5/8	315	1 1/2	804	溝形鋼		18 x 6	121

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	
18 x 8.75	9	1 3/8"	4	7.5-15.5 m/m	200	60 x 224	25	輕軌條		其他合計	440	12 1/2"	132	
20 x 6 1/4	246	0.8 m/m	1	其他	1	70 x "	12	40 Lbs	191	鋼管		14 1/2	22	
20 x 12	1	1.5	33	合計	286	80 x "	16	35	57	1/8"		57 m/m	1	
24 x 7	24	1.6	132	鋼板	3,245	90 x "	1	30	337	1/4"		pipe fitting	19	
24 x 9.75	2	1.8	64	(厚 0.7 m/m 以下)		Oil size	6	25	292	3/8"		合計	4,624	
24 x 12 1/4	8	2.0	4	6 sheets	35	其他	3,048	20	342	1/2		鋼材合計	61,073	
26 x 13.75	16	2.5	2	7	10	合計	5,246	18	175	3/4"		鋼片	鋼塊	
28 x 14 1/4	8	3.0	2	8	41	電氣鐵板		12	381	1		2	シートバー	9,439
合計	1,635	4.0	1	7	60	0.014"	470	9	70	1		662	ブルーム	3,363
球山形鋼		3 sheets	90	9	1.170	0.5 m/m	61	合計	2,096	1 1/4		277	プレート	677
造船材料		4	91	10	83	計	531	繼目板		1 5/16		217	クック	62
5" x 3"	6	5	60	11	53	造船材料		40 lbs	21	1 1/2		217	ステンチ	67
7 x 3 1/2	16	10	155	12	53	合計				3 1/4		113	その他	71
10 x 3 1/2	145	11	4	13	5,608	寸法不明	15	35	3	1 3/4		30		
合計	167	12	8	24	82	合計	546	30	13	2		330		
丁形鋼		12 1/2	2	26	119	鋼板合計	21,073	25	8	2 1/2		52		
2" x 2"	20	13	36	28	433	線材		20	14	3		173		
4 x 3	16	13 1/2	1	29	360	B.W.G. No.	6	1.307	18	7		113		
4 x 4	45	14	52	30	3,643	5	3	9,751	16	11		188		
4 x 5	15	15	113	0.33 m/m	15	3	46	12	5	4 1/2		80		
合計	96	16	87	合計	11,706	1	141	9	1	5		19		
パイプ	1,322	17	24	縞鋼板	0	22	重量不明	6	59 1/16	33		33		
型鋼合計	7,766	18	47	3/16"	155	00	51	合計	89	6		83		
鋼板		19	6	1/4	93	000	113	軌附合計	2,333	6 1/2		15		
鋼板		20	102	5/16	25	5.0 m/m	255	其他		6 5/8		533		
(厚 0.7 m/m 超)		22	12	3/8	21	7.5	51	特殊鋼		7		36		
1/16"	1,159	計	2,959	5 m/m	23	5	203	丸鋼	187	7 1/2		3		
3/32	136	造船材料		6	8	00	15	角鋼	58	8		169		
1/8	383	3/16"	38	合計	330	000	15	平鋼	156	8 1/2		5		
3/16	135	0.24	3	鐵力板		線材合計	11,970	鋼板	18	8 5/8		510		
1/4	3	0.26	26	100 Lbs	288	軌條及附屬品		其他	6	10		12		
7/8	1	0.30	1	170	563	重軌條		合計	425	10 1/2		1		
1	9	0.34	17	50 x 224	23	其他	148	外輪	15	12		16		

以上耗寸法の引受開始の結果、下の寸法の注文引受は6月渡の分より廢止することになった。

工形鋼 ½" × 12" × 6" 300 × 9" × 4" 360 × 10" × 5"
溝形鋼 ½" × 10" × 3½"

但し工形鋼の 400 × 12" × 6" は之に代るべき 10^m/_m × 300^m/_m × 150^m/_m のロールの完成する迄は従前通り注文引受をすることになった。

5 月積先物賣行概況—條鋼減少、厚板再激増

一、條鋼

(1) 賣出噸數

線材	1.2小形	3小形	1中形	2中形	1大形	2.3大形	軌條	計
100	400	400	500	500	600	1,000	—	3,500

(2) 揚地別申込噸數

	東京	大阪	名古屋	其他	計
丸	2,050噸	1,075噸	665噸	211噸	4,001噸
角	385	271	116	50	822
平	1,660	990	240	341	3,231
等邊	548	1,000	65	80	1,693
不等邊	257	986	5	210	1,458
溝	275	305	5	21	606
工	65	475	5	11	556
計	5,240	5,102	1,101	924	12,367

(3) 引受噸數 (括弧内は定期)

	線材	1.2小形	3小形	1中形	2中形	1大形	2.3大形	軌條	計
丸	100 (260)	—	328 (2,231)	—	152 (500)	—	—	—	580 (2,991)
角	—	93 (45)	—	33 (60)	95	—	—	—	221 (105)
平	—	210 (1,610)	—	242 (405)	—	—	—	—	452 (2,015)
等邊	—	102 (155)	73	—	142 (220)	—	620 (215)	—	937 (590)
不等邊	—	—	—	210	105 (265)	482 (460)	100 (250)	—	896 (975)
溝	—	—	—	15 (50)	—	96 (445)	95 (150)	— (128)	206 (773)
工	—	—	—	—	—	15 (60)	246 (195)	— (50)	261 (305)
計	100 (260)	405 (1,810)	401 (2,231)	500 (515)	494 (985)	593 (965)	1,061 (810)	— (178)	3,554 (7,754)

二、鋼板

(1) 賣出噸數

厚板	1中板	2中板	計
400	300	300	1,000

(2) 揚地別申込噸數

	東京	大阪	名古屋	其他	計
厚板	1,506	4,177	340	112	6,135
1中板	1,287	1,869	150	160	3,466
2中板	2,392	2,344	234	240	5,210

計 5,185 8,390 724 512 14,811

(3) 引受噸數 (括弧内は定期)

厚板	1中板	2中板	計
400	300 (427)	300 (447)	1,000 (874)

三、鐵力板

(1) 賣出、申込噸數

市場向	賣出	申込
	700	1,383

實需向	400	400	170封度	100封度	オイル サイズ	計	
計	1,100	1,783	市場向	346	280	124	700
(2) 引受融數			實需向	100	100	200	400
			計	446	330	324	1,100

四、線材 (括弧内は定期) (1) 賣出、申込、引受融數

	賣出	申込	引受	賣出	申込	引受
線材	700 (620)	700	700 (620)	製釘材 計	3,000 3,700 (620)	3,000 3,700 (620)

賣出融數 定期の賣出融數は4月渡同様半減にて、鋼板は受渡整理の意味にて先物は前月に比し500 融の減少にて1,000 融の賣出に止めた。

申込數量 條鋼は不等邊を除くと全部に互る減少にて特に丸鋼は前月の半數に満たぬ數字を示した。之れは寧ろ先月の申込が異常に多かつたと見る方が至當ではなからうか。總數量に於て前月の約20,000 融に對し約8,000 融の減少となつた。鋼板は、1・2中板は前月に比し大なる差異は認められなかつたが只厚板は前月の3倍以上の激増である、これは例の川崎造船の契約解除による思惑的假需要が其主要な原因と見られて居る。

線材市況と東西需給の變遷 海外は概れ7-17-6と不相變の強調に爲替軟化を添へて河岸著の103圓見當の採算となり、内地は今の處大した荷凭れもなく特に東京は正月以來の入荷薄により昨冬迄の在庫を消化し、さりとて品薄の壓迫を感じる程の逼迫もなく各工場共相當の手當はあると云ふ有様で誠に需給の調子よく、随つて相場も穩健ではあるが目先の需要期を控へて底堅く、其上一般に3月の入荷薄を信じられて先行相當の上伸を見る様に云はれて居る。大阪は入荷關係で東京程の事は無い模様である。下表は旬報第60號と稍重複の感はあるが、2年間に於ける東西市場の線材需給の變遷を見る爲輸入のみに就て掲記したるものである。兩年東西を比較すると大阪は約5割の増加に對し東京は2倍の増加を見たこれは需要の増加も勿論だが昭和2年のパニックにより消滅した工場の復活が重なる原因と見られて居る。期節的に見ると昭和2年の下半期と昭和3年の上半期が輸入の激減を見た爲め市價の昂騰を來たした事が如實に現はれて居る。然るに3年下半期は輸入の激増に依り海外は益々騰貴せるに拘らず市價は軟化したのである。即ち此は海外如何に好調でも内地が需給の調節を缺けば一顧の價だもなき證左である。要するに線材は内地生産が統制力を持つ丈に増産せる迄は此輸入と云ふ人形師の操る絲のまゝに踊らなければならぬ運命の下に置かれて居るのである。

昭和 2、3 年線材年別三港輸入數量其他對照表

單位融、圓

		昭和 2 年																
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	上期 半計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下期 半計	合計		
阪神		6,459	9,203	8,755	7,010	9,918	11,098	52,443	7,435	3,145	6,119	2,970	5,350	5,062	30,081	32,524		
京濱		2,068	4,231	2,217	1,368	1,515	1,998	13,397	1,308	307	637	636	603	903	4,394	17,791		
計		8,527	13,434	10,972	8,378	11,433	13,096	65,840	8,743	3,452	6,756	3,606	6,253	5,665	34,475	100,315		
市價 外換	大阪	85	84	85	83	82	84	—	83	85	88	89	92	102	—	—		
	東京	85	85	85 ⁵⁰	83	82	81	—	81 ⁵⁰	83	85	86	92	101 ⁵⁰	—	—		
	註算	85 ³⁰	84 ³¹	80 ⁸¹	82 ¹⁸	84 ⁵⁹	88 ¹⁹	—	89 ⁸⁸	87 ¹⁰	88 ²³	87 ⁶¹	88 ³⁴	88 ⁸⁶	—	—		
		昭和 3 年																
阪神		4,583	7,423	12,423	7,092	10,833	9,882	52,236	7,720	11,147	10,624	13,982	13,065	16,819	73,357	125,593		
京濱		1,867	2,365	3,950	1,430	2,898	3,312	15,822	3,052	2,052	4,394	4,544	4,086	2,162	20,290	36,112		
計		6,450	9,788	16,373	8,522	13,731	13,194	68,058	10,772	13,199	15,018	18,526	17,151	18,981	93,647	161,705		
市價	大阪	103	100	96	100	115	107	—	105	108	107	102	96	96	—	—		
	東京	100	97	96	100	113	105	—	104	106	105	106	102	102	—	—		

外註換算 87⁰⁰ 86⁸⁶ 86²⁷ 89²³ 91⁸⁸ 92²⁴ — 93⁵⁸ 96⁶³ 96⁵⁵ 97⁶⁹ 95⁷⁹ 98³¹ —

備考 1. 線材は神戸、大阪及横濱の三港分とす 2. 外註換算は當所先物協議會の時の換算價格とす

2月中下旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

細丸						線材						
港/寸法	1/4"	5/8	3/8	1/2	5/8	計	2月合計	港/寸法	B.W.G. No.5	其他	計	2月合計
神戸	58	143	51	225	83	560	2,471	神戸	1,396	353	1,749	7,476
横濱	—	50	457	131	57	695	2,850	横濱	757	61	818	1,650
計	58	193	508	356	144	1,255	5,321	計	2,153	414	2,567	9,126
二月合計	407	691	2,120	999	1,104	5,321		2月合計	8,161	965	9,126	

備考 横濱自 2月 16 日至 22 日、神戸自 2月 18 日至 24 日

今旬は締切の関係上約一週間分の輸入數量であるが、細丸 3/8 は不相變大阪神戸尠なく横濱は豫期程度の入荷と見られて居る。今月は全部に就て云へば相當の數量に達して居る。

線材。大阪が正月、2月と兩月共入荷薄の聲に反して相當の入荷を見て居る爲、兎角東京より下廻つて伸惱みの商狀にあるは致し方あるまい。

東西市況——型物界活氣付く 好況の反動により蟄伏4ヶ月兎角低迷勝ちであつた業界も今旬に入つてから甚だ仄かながら漸く轉換の氣運を感じる様になつた模様である。即ち最近大口として鐵道省鶴見發電所の型物入札が決定したに刺戟され、猶昨年と異なり東西共續々として大口の見積りが市場に現はれ出したので型物界は暫く振りにて活氣付き一般に上向きの傾向を馴致した様である。其他の鋼材も此氣配の影響を受け總體に底堅いと云はれて居る。

東京市況 丸鋼。細丸は順調な入荷と、荷動きの不活潑から未だ氣迷ひの域を脱せず寧ろ小甘い商狀と見られて居る。ベース物は前旬以來底強き氣配ではあるが未だ相場に迄は現はれて居ない。

角、平鋼。角は品薄で特に 15^m/m は相當の反撥を見せ其他一般に引き締りと云はれ、平は品凭れと西安に押され稍軟と見弱られて居る。

型鋼。等邊山形は大口見積決定の影響も受けて引續き小締りで大型物の強調も不變。不等山は手持薄により先高豫想から睨りして居る。溝形も弗々と大口の需要が現はれた爲徐々に立ち直りの氣勢を見せ、工形は現在は稍頭重の感があるが他の型物に連れて好化の曙光を見るのも近い様に云はれて居る。

鋼板。川崎造船の先物契約解除問題が刺戟となつて全般的に硬化し、特に 4.5^m/m は市場は手持殆どなく、爲に11圓 80 錢と高値を持續して居る。

大阪市況 丸鋼。市況の鈍狀不變なるも幾分先高見趣の氣分を加味せられたる様見受けられ特に 12^m/m は目先の品薄に 1—20 錢方引締りを見せた。

角、平鋼。角鋼安値物買漁り熄まず總じて 2—30 錢高と強調を呈して居る。平鋼も 9圓 6—70 錢物は漸時市場より姿を消し、追々十圓の壘に追る氣配と見られてゐる。

型鋼。等山は需要の漸増と入荷薄見越しと相俟つて安値品の厭氣物は著々と消化せられ大手筋も 9圓 50 錢と高値に協定し地場の氣勢に添ふたので好轉の機も案外早いとも云はれて居る。大形は益々活氣付いた模様である。不等山は大體睨りにて引き續き好化を豫期されて居る。工形 10' 迄のものは鈍重ながら 12' 以上のものは幾分見直し需要の偏倚と共に面白い波瀾を見せて居る。溝形は消費變換の大勢に抗すること能はず不相變の不冴の商狀ながら在庫は漸減して居る。12' 以上のものは品薄により依然手堅い。

鋼板。1.6×3×6 は東京高と品薄により 40 錢方の急騰を見せ 3.2 は好調ながら當所品先約數字を眺めて伸びず厚板は川崎の契約取消發表により久し振りの硬化を演じ取引も幾分増加した。

旬報掲載の諸表と利用の一例 昭和4年分より旬報には大體下の順序に依つて諸表を載せる計畫である。然し時には準備の都合によつて前後することあるは豫め御諒承を願ひたい。

- 1 日 一、當所品種寸法別生産高表(前々月分) 二、當所棒鋼寸法別揚地別引渡高表(前々月分)
- 11 日 三、定期及先物契約數量表(前月分) 四、月別契約高表(前月分) 五、國別輸入數量表(前々月分)
- 21 日 六、當所製品揚地別發送高表(前月分) 七、民間棒鋼寸法生産高表(前々月分) 八、三港輸入鋼材寸法別

總計表(前月分)

以上の外半期若しくは臨時に必要と認むる諸表を掲載す。

表の利用法としては(一)(七)、(八)を組み合わせると月別の品種寸法別總供給高を知るに便であるが只民間生産高は棒鋼以外は毎月調査困難な事情にある爲鋼板等の數字は半期毎でなければ知るを得ない。

(二)(六)は當所品のみのものであるが鋼材の分布の大勢を知るに便であらうと思ふ。

其他は今迄連續掲載されたものである。

外國爲替市中相場

區分/月日	Feb. 21	22	23	25	26	27	28
日 英	$1/10 - 1/4$	$1/10 - 5/16$	"	"	$1/10 - 1/4$	"	"
日 米	45-0	45- $1/8$	"	"	45-0	"	"
日 佛	11.40	"	"	"	"	"	"

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場

東京 2月27日
大阪 2月25日

丸	鋼		等邊山形鋼				工形鋼			
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	東京	大阪	
6 ^{m/m}	10.60	10.70	9×75×75			9.30	9.30	0.36"×5"×10"	9.40	9.00
9	10.50	10.55	9×130×130			9.45	9.50	鋼板		
12	"	10.60	12×130×130			"	"	1.6 ^{m/m} ×3'×6'	12.70	12.00
19	9.80	9.80	15×150×150			9.50	10.00	1.6×4×8	11.90	11.60
25	"	"						3.2×4×8	11.50	11.70
50	10.40	10.70						3.2×5×10	11.30	11.10
65	10.60	10.50						6.0×4×8	10.90	11.00
								6.0×5×10	11.40	"
								9.0×4×8	10.90	"
								9.0×5×10	11.00	11.10
								薄鋼板(13枚)		
								米	74	715
								英	72	70
								八幡	71	"
								鍍力板		
								米 {170 ^{lbs}	23.00	22.50
								{100	12.80	12.50
								英 {170	22.50	21.70
								{100	12.10	11.80
								八幡 {170	22.50	22.20
								{100	12.10	12.00
								線材		
								No.5#	10.20	98.00

備考、單位 100kg につき (置場渡値段)。但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 疋當り。鍍力板は 1 箱當り。

昭和4年1月棒鋼寸法別揚地別引渡高表 單位噸

丸鋼					鋼					角鋼					鋼						
民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼					民間向普通鋼					官廳向及規格品並特殊鋼						
寸法	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	合計	寸法	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	合計
6 ^m / _m		145	159	—	304	—	—	—	—	304	15 ^m / _m		14	—	—	14	15	—	—	15	29
6.5		—	—	—	—	—	—	2	2	2	19		5	—	—	5	—	—	—	—	5
7		169	99	—	268	—	—	—	—	268	25		—	—	12	12	—	—	7	7	19
8		245	186	59	490	—	—	2	2	492	32		—	—	—	—	—	—	13	13	13
8.5		—	—	—	—	—	—	5	5	5	38		117	34	5	156	—	—	—	—	156
9		645	2,319	347	3,311	—	—	12	12	3,323	50		25	15	7	47	10	32	9	51	98
9.5		—	—	—	—	—	—	5	5	5	55		5	—	—	5	—	—	3	3	8
11		—	—	—	—	—	—	2	2	2	65		30	20	3	53	—	—	16	16	69
12		1,226	270	78	1,574	35	—	13	48	1,622	70		10	5	—	15	2	—	20	22	37
13		—	—	—	—	—	—	11	11	11	80		—	—	—	—	—	—	4	4	4
15		—	—	—	—	—	—	5	5	5	90		11	5	—	16	—	—	29	29	45
16		—	—	—	—	—	—	18	18	18	100		236	—	—	236	8	21	10	39	275
18		3	—	—	3	—	—	26	26	29	110		—	—	—	—	—	—	8	8	8
19		—	—	—	—	—	—	69	69	69	120		—	—	—	—	—	—	7	7	7
20		—	—	—	—	—	—	1	1	1	130		—	—	—	—	—	—	3	3	3
21		—	—	—	—	—	—	10	10	10	170		—	—	—	—	—	—	39	39	39
22		—	—	—	—	—	—	56	56	56	計		453	79	27	559	35	53	174	262	821
24		—	—	—	—	—	—	15	15	15											
25		—	—	—	—	—	—	17	17	17											
27		—	—	—	—	—	—	7	7	7											
28		—	—	—	—	—	—	33	33	33											
31		—	—	—	—	—	—	48	48	48											
32		3	—	—	3	—	—	23	23	26									2	2	977
35		—	—	—	—	—	—	5	5	5									—	—	585
36		—	—	—	—	—	—	8	8	8									—	—	583
38		—	—	—	—	—	—	27	27	27									12	12	192
50		75	23	—	98	—	—	24	24	122									4	4	17
55		2	30	—	32	—	—	—	—	32									—	—	634
60		6	80	15	101	—	—	—	—	101									8	8	8
65		116	—	22	138	—	—	8	8	146									—	—	9,1307
70		95	—	—	95	—	—	—	—	95									—	—	2
75		13	11	—	24	—	—	11	11	35									37	37	1,162
80		29	—	—	29	—	—	—	—	29									—	—	1
90		19	28	14	61	92	—	4	96	157									11	11	397
100		358	336	—	694	344	—	3	347	1,041									70	11	81
100超		7	—	—	7	—	—	10	10	17									1	1	1
計		3,156	3,541	535	7,232	471	—	481	951	8,183									70	101	171

備考 1. 鍛成品を含まず 2. 自家用品は官廳向に含む

販賣旬報 第85號 昭和4年3月9日

2月中主要鋼材三港輸入概觀——丸鋼漸增

港/品名	丸	角	平	等山	不等山	溝形	工形	鋼板(0.7) 7)耗超	鋼板(0.7) 耗以下	鋳力	軌條	線材	其他	計
神戶	3,879	180	406	631	81	122	503	961	2,272	2,515	922	11,022	2,908	26,407
大阪	1,854	121	162	539	100	195	1,584	1,212	3,069	—	850	603	579	10,868
橫濱	6,745	375	1,042	2,299	236	533	691	1,594	4,491	2,814	1,175	2,460	2,764	27,219
計	12,478	676	1,610	3,469	417	850	2,778	3,767	9,837	5,329	2,947	14,085	6,251	64,494
4年累計	23,194	1,304	3,075	6,931	674	1,678	4,412	7,012	21,544	10,576	5,191	26,054	13,932	125,577
3年1ヶ月平均	3,184	423	1,281	1,380	226	695	1,055	3,466	16,780	5,297	3,611	12,703	8,302	58,403

大體に於て前月と變らざるも需要期節近いので逐次増加の傾向にあるは否まれない。各品種に就て目立つものを拾つて見ると、工形は各港共増加で前月より約 1,000 噸の激増である、鋼板 0.7 耗以下は大阪がまたも 2,000 噸の減少で平均の輸入數量は寧ろ激減と云へるが今迄の滞貨が此處 2、3 ヶ月位の輸入減では到底消化し切れないので市場が未だ鈍調だとも云へよう。線材は先月一寸減少したが 2 月はまたも増加した、大阪の線材の不冴は、勿論製品の安値が影響して居ることであるが、其製品の安値なるものが此輸入過剰と因果關係を持つて居るのは事實と云はなければなるまい。それにしても昨秋以來市場雀の囁つた「將來の輸入手當薄」は何時實現することやら、これだから外註本位の品種は誠に恐ろしいと云ふのである。

丸鋼は豫想する細丸輸入の峠が 2 月にあつた事として、前月より約 2,000 噸の増加である。2 月中に於ける 15^{m/m} 以下の各港別輸入實數は表の通りである。

2 月中黒板市況と當所入札成績 2 月中の海外は高値のまゝに殆んど動かず、それに爲替の稀有の軟化により外註の斷念を餘儀なくせられた状態となり、先行の入荷薄は豫想せられるが、内地の現在の有様は 3 月の聲は掛つたとは云へ未だ製品たる鍍板の荷動きは滞貨の消化を見るまでに到らず、爲に東京は本月も鍍板の操短によつて辛ふじて此軟調を喰ひ止めて居る状態で先行の波瀾は兎に角として目先は氣迷の域を脱せぬ有様と云はれて居る。

參考として 28 番、30 番の大正 14 年以降の内地への供給數量を掲記すると次の表の通りである。但し昭和 2 年以前は統計材料が不十分な爲め推定によつたものもある故正確は保し難いが大勢を見るには支障ないと思ふ。

大正 14 年度以降黒板 28 番及 30 番供給數量表 單位噸

寸法 B.W.G. No.28						寸法 B.W.G. No.30					
年次	當所	民間	計	輸入	合計	年次	當所	民間	計	輸入	合計
大正 14	86	2,304	2,390	16,254	18,644	大正 14	5,622	7,231	12,853	109,867	122,720
大正 15	129	3,972	3,101	18,821	21,922	大正 15	8,500	10,933	19,433	127,217	146,650
昭和 2	139	5,657	5,796	8,808	14,604	昭和 2	9,414	24,662	34,076	136,086	170,162
昭和 3	249	10,135	10,384	6,041	16,425	昭和 3	18,691	48,965	67,656	149,798	217,454

當所 3 月渡黒板入札成績下の如し。

開札日	第一薄板工場		第二薄板工場	
	最高	最低	最高	最低
3 月 8 日	184.50	183.11	184.50	183.56
前回	183.32	182.84	183.33	183.32

3 月上旬神戸、横濱兩港細丸、線材の輸入

港 / 寸法	細丸					計	線材		
	¼"	⅝	⅜	½	⅝		B.W.G.No.5	其他	計
神戸	46	20	—	298	509	873	3,237	570	3,807
横濱	193	78	617	888	447	2,223	994	198	1,192
計	239	98	617	1,186	956	3,096	4,231	768	4,999

備考 神戸自 2 月 25 日至 3 月 7 日、横濱自 2 月 23 日至 3 月 5 日

細丸。此一旬の數量を以て速斷するは無理かも知れぬが大體 ⅝ は 2 月を以て峠を越したのではあるまいか、½ は未だ可成りの入荷を見る模様である。

鍍滓綿とベンゾール類 一、鍍滓綿値上 熱の傳導率の少ないため、保温、保冷、防熱材料として、時に又防音層の填充材として益々好評を得て居る當所鍍滓綿一級品 二級品は、從來の供給難の緩和策として、明年度上半期生産豫定を多少増加することになつたが、尙到底全部の需要に應ずる事は至難である。

用途の限られて居た關係から比較的賣行不振状態にあつた並等品も、今期の値下げと熱心なる一部營業者の新販路開拓への努力によつて、本年に入つて需要急増し、前途漸く好轉を想はするに至つた。

以上によつて次期明年度上半期（自四月至九月）當所工場構内渡藁吸入1噸當り一般價格は下記の通り改正した。

一級品 130 圓替（10 圓値上） 二級品 78 圓替（8 圓値上） 並等品 12 圓替（据置）

二、鑛滓綿共販組合成立 昨年來市場販賣價格の統一を期するために、自發的に組合成立に力を致して居た當所と直接契約者中の販賣業者の間に圓滿なる協定が出来て、今回鑛滓綿共販組合を組織し、當所に對して長期供給契約の希望があつた。

組合員は内規として關東以北、中部本州、山口九州等、販賣區域を劃定して、地理的にも協調を重んずる事になつて居る。

徒らに販賣競争に陥りつゝあつた弊を避けしむる意味に於て、當所は從來の需給状態を参照の上、次期渡より一部數量の定期契約をなす事に決定した。

三、今期ベンゾール類價格 市場多少モーターベンゾールの軟弱を傳へて居るが、月と共に當所へ直接新需要家の絶えない點から觀れば、所謂下押氣配は今まで好調を重ねた反動現象で、季節の進行につれ遠からず再び上伸し、相當活潑な場面を來すであらう。ソルベントナフサの如きは相變らずの人気で、割當契約の好況を保持して居るが、前者の商狀を考慮して多少の餘地を残し、今期3、4月渡ベンゾール類は全部据置の事にした。

モーターベンゾール 70 噸以上契約の場合 180圓 35 噸以上〃 190 圓 35 噸未滿〃 200圓 100%ベンゾール 230圓 ソルベントナフサ 30 噸以上契約の場合 170圓 30 噸未滿〃 175 圓 製鐵テレメン油 180圓

四、ベンゾール類價格の推移 参考までに前記價格を去年同期價格と比較するに、市況の躍進に伴ふ漸進的値上によつて豫期以上の堅調を持し、1 年間に

モーターベンゾール 1噸に付 35圓 100%ベンゾール 〃 50圓 ソルベントナフサ 〃 45圓 テレメン油 〃 40圓

の騰貴を示し、昨冬來略價格の安定を來して居る。市況常ならずとは云へ、當所品の供給量から見て、此後突發的事件のない限りは、一昨年のような不況を來す事はあるまいと考へられる。

東西市況 — 底意強し 型物は其後一整に活氣を帶び、徐々に好轉の機運に向つて來た模様である。各品種共需給の範圍が狭い型物の事とて需要の勃興に伴ひ一波瀾は脱れまいと見られて居る。之に反し丸鋼は軟調裡に推移して來たが東西共此邊を底として暫らくの間は低徊する様觀察せられて居る、一般に未だ荷動きが氣配に伴はないので稀有の爲替の暴落も地場には影響なく至極平靜の態度を持して居るが、總ての條件が大體強氣材料なので底意は強いと云はれ居る。

東京市況 丸鋼。細丸の軟調未だ止まず復も10錢搦みの下押しを見せて居るがそれ程手持が潤澤かと云へば恐らく大した數量には昇つて居ないと見る筋が多く只全般に行き亘つて居ると、荷動きが鈍いのが其原因と見られ従つて需要の擡頭と俟つて相當の反復を豫期されて居る模様である。50^m/—60 は北海道方面の需要もあつて氣を持つて居る。

角、平鋼、角は永い間手當薄の利目が漸く現はれ引き締り、特に 12、15 は躍進の氣勢を見せた、平の出廻りの順調は不變るも大阪の鞆寄せにより此上の下押しはあるまいと見られて居る。

型鋼。等山ベース幾分見直し猶底堅しと見られ、大形は一段の上伸を見た、不本山 品薄により強含み、溝工共前旬以來デリ高歩調のまゝ推移しある爲、弗々と安植物の買進みも現はれ、前途の波瀾を豫想して居る筋も多い様である。

鋼板。鋼板 前旬以來好調だつた 45^m/ に加へ 23 も追々と品薄となつて硬化の模様である。

大阪市況 丸鋼。先高見越濃厚なるも地場は目先の閑散に牽制されて伸びず時期待の状態である、市中在荷は漸減し 50、60 75 は極度の拂底により飛躍して居る。

角、平鋼。角は依然品薄を背景として堅實な昂騰振りを見せ、永らく下積に呻吟して居た 10^m/m に花の咲くのも遠くはあるまいと見られて居る。平の 1"—1½" は當所品の入荷により引き弛み其他は概して堅實である。

型鋼。等山中形は實需の増加と在荷減により順調に伸張し、寧ろ先物の手當薄を感ぜしめられると云ふ、1、2ヶ月前の状態から見ると夢の様な事である、等不等の大形物は取引振り著數活況を帶び前途品薄氣分と共に益々好調に入

つた、之に伴れ溝形は爲替關係の外注難に刺戟され全般的の引締りと部分的の狂騰、暴騰を演じて居るものもある、工形 12'' 以上は不相變手堅く殊に 18'' 20'' 24'' は目先の大口需要見越により一段の強合みとなり活況を期待されて居る。

鋼板。1.6×4×8は値頃觀より安値に買氣潜在して幾分の引締りを見せ厚板在荷益々拂底に上伸して居る。

外國爲替市中相場

區分/月日	Mar. 1	2	4	5	6	7	8	9
日 英	1/10-3/16	1/10-1/8	1/10-1/16	1/9-7/8	1/9-15/16	1/9-7/8	1/9-15/16	
日 米	44-7/8	44-3/4	44-5/8	44-1/4	44-3/8	44-1/4	44-3/8	
日 佛	11:30	"	11:20	"	"	11:10	"	

備考 日佛のみ正金建値。

東京大阪市中相場 {東京 3月6日
大阪 3月5日

丸	鋼		等邊山形鋼				工 作 鋼		
	東京	大阪	m/m	m/m	m/m	東京	大阪	東京	大阪
6 ^m /m	10:50	10:60	9×75×75	9:35	9:30	0.36''×5''×10''	9:50	9:00	
9	10:40	10:50	9×130×130	9:60	9:50	鋼 板			
12	"	10:70	12×130×130	9:55	"	1.6 ^m /m×3'×6'	12:70	12:20	
19	9:80	9:80	15×150×150	9:60	10:00	1.6×4×8	11:90	11:60	
25	"	"				3.2×4×8	11:70	11:80	
50	10:55	10:70	不等邊山形鋼			3.2×5×10	11:30	11:20	
65	10:60	"	3/8''×2''×3''	9:90	9:30	6.0×4×8	11:00	10:90	
			3/8''×3×4	9:70	9:80	6.0×5×10	11:30	"	
			3/8''×3 1/2×5	10:10	10:70	9.0×4×8	11:00	"	
			3/8''×4×6	9:80	9:50	9.0×5×10	"	"	
			1/2×4×6	9:90	9:80				
			溝 形 鋼			薄 鋼 板 (13枚)			
			1/4''×2''×4''	9:70	9:50	米	72	715	
			0.312×2 1/2×5	9:90	9:70	英	71	70	
			3/8×3×6	10:00	"	八 幡	70	"	
			3/8×3×8	9:80	9:50	鉚 力 板			
			3/8×3 1/2×10	10:00	"	米	{170 ^{lbs}	23:20	22:50
			3/8×3 1/2×12	12:50	12:50		{100	12:80	12:60
			工 形 鋼			英	{170	22:70	22:00
			1/4''×3''×6''	10:00	9:50		{100	12:10	11:80
			3/8×6×12	"	10:80	八 幡	{170	22:70	22:20
			0.28×4×8	9:70	9:10		{100	12:10	12:30
			0.35×5×12	10:40	10:00	線 材			
						No. 5#	102:00	98:00	
			等邊山形鋼						
			m/m	m/m	m/m				
			6×50×50	9:40	9:50				
			6×65×65	9:35	9:40				

備考、單位100疋につき(置場渡値段)、但し薄板は1枚當り。線材は1疋當り。鉚力板は1箱當り。

昭和4年2月分契約高

品 種	區 分	官廳小計		民間小計		二月中合計			本年度累計		
		噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸 數	金 額	噸當	噸 數	金 額	噸當
大	條	232	33,654	1,988	182,967	2,220	216,621	97.58	88,736	8,692,536	97.96
中	條	269	38,873	3,000	311,977	3,269	350,850	107.33	68,401	6,871,724	100.45
小	條	166	24,888	5,521	568,124	5,687	593,012	104.28	123,894	12,432,990	100.35
鋼	板	1,255	196,170	9,512	943,348	10,767	1,139,518	105.85	154,746	17,010,699	109.93
重軌條及附屬品		10	1,001	2,519	249,813	2,529	250,814	99.18	185,053	18,795,812	101.57
輕軌條及附屬品									19,148	1,843,869	96.20
線	材			4,609	487,054	4,609	487,054	105.97	50,960	4,802,586	94.24
黑板、珪素鋼板、錳力板				3,347	678,380	3,347	678,380	202.93	42,712	9,146,817	214.15
車軸、外輪、鍛成品		6	1,256	75	10,852	81	12,108	148.25	6,916	1,811,896	261.99
工具鋼、特殊鋼				20	3,200	20	3,200	160.00	1,088	247,271	227.27
其他鋼材									7,548	706,113	93.55
鋼材小計		1,938	295,842	30,591	3,435,715	32,529	3,731,557	114.71	749,202	82,362,313	109.93
鋼片、鋼塊、シートバー				10,581	828,712	10,581	828,712	78.32	101,631	7,589,279	74.67
以上計		1,938	295,842	41,172	4,264,427	43,110	4,560,269	105.85	850,833	89,951,592	105.72
短尺及屑鋼		130	9,351	4,153	310,861	4,283	320,212	74.76	78,789	6,045,573	76.73
合計		2,068	305,193	45,325	4,575,288	47,393	4,880,481	102.98	929,622	95,997,165	103.23
副製			260,635		266,283		526,918			5,286,988	
其他											

備考 1. 單位, 噸及圓 2. 噸及圓以下四捨五入。

昭和4年5月渡定期及先物契約數量表

單位噸

丸 鋼		角 鋼		平 鋼		等邊山形鋼		不等邊山形鋼		溝 形 鋼		工 形 鋼		鋼 板		
寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	合計	
6 ^m / _m	219	12 ^m / _m	45	3/4"	145	40 ^m / _m	257	3' × 2'	70	3 1/2' × 2'	65	6' × 3'	75	1.6 ^m / _m	505	
8	141	15	43	7/8	80	45	40	3 × 2 1/2	90	5 × 2 1/2	160	8 × 5	50	2.3	222	
9	1,492	25	20	1	320	50	33	3 1/2 × 2 1/2	50	6 × 2 1/2	151	16 × 6	150	3.2	514	
12	1,067	32	25	1 1/4	401	65	70	3 1/2 × 3	135	6 × 3	175	18 × 7	60	4.5	233	
50	187	38	93	1 1/2	277	75	292	4 × 3	235	7 × 3	55	24 × 7 1/2	86	6.0	227	
55	90	50	15	1 3/4	171	130	338	5 × 3	286	8 × 3	110	200 × 100 ^{m/m}	145	8.0	30	
65	226	65	30	2	426	150	497	5 × 3 1/2	586	10 × 3 1/2	135			9.0	119	
75	149	75	50	2 1/2	308			6 × 3 1/2	75	12 × 3 1/2	77			12.0	24	
				3	284			6 × 4	350	15 × 4	51					
				4	55											
合計	3,571	合計	326	合計	2,467	合計	1,527	合計	1,877	合計	979	合計	566	合計	1,874	
棒鋼合計	6,364					型鋼合計	4,949									
	條鋼合計					11,313					鋼板合計	1,874				
	總 合 計															13,187

昭和四年一月中國別輸入數量表 (單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年計
條及竿鐵 <small>(丸、角及平形にして徑邊又は巾15m/mを超えざるもの)</small>	199	1,062	2,975	519	34	226	26	391				5,432	5,432
〃 (丸、角、平のもの其他)	724	762	4,199	1,084	106	70	42	176			4	7,167	7,167
〃 (テー形及アングル形)	2,052	686	1,526	1,227							173	5,664	5,664
〃 (其他)	123	1,445	3,424	248		147		512			894	6,793	6,793
レ - ル		192	1,605					194			129	2,120	2,120
フィッシュ、プレート		20	43					6				69	69
ワイヤーロッド <small>(巻きたるものにして徑5m/mを超えざるもの)</small>			3			1						4	4
〃 (巻きたるもの其他)	96	3,467	7,758	327		1,454	169	3,112				16,383	16,383
鐵板 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚0.7m/mを超えざる素鋼板)</small>	289		163				6	259				717	717
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚0.7m/mを超えざるもの其他)</small>	7,988		1,523	71				1,569				11,151	11,151
〃 <small>(金屬を鍍せざるものにして厚3m/mを超えざるもの)</small>	224	303	891	375	18		31	227	1			2,070	2,070
〃 (金屬を鍍せざるもの其他)	3,631	56	908	431			3	55			1	5,085	5,085
〃 (錫鍍したもの)(葉鐵及葉鋼)	1,509		3					4,005				5,517	5,517
〃 (亜鉛鍍したるもの)	6		28					31			10	75	75
〃 (其他卑金屬を鍍したるもの)	56		161		5		2	122				346	346
鐵線	40		278	3	3		38	135				497	497
リード、ワイヤー	7	1									1	9	9
鐵リボン	98	38	199				45	35			1	416	416
帶 (籜鐵)	102	94	2,486	226								2,908	2,908
バラゴン、ワイヤー	11		1				8					20	20
線 索	29	2										31	31
撚 合 線								48				48	48
バーブド、ツイスト、ワイヤー													
鐵筒及管	374	1,209	984	80		219		1,961			2	4,829	4,829
特殊鋼(稅表一)	14		3		64		3	11	15		2	112	112
〃 (稅表二)	17		13		8		16	6			5	65	65
鐵道車輛用車輪及車軸								38				38	38
鐵道車輛用タイヤ			46	3		20						69	69
鐵道車輛用スプリング													
合 計	17,589	9,337	29,220	4,594	238	2,137	389	12,893	16		1,222	77,635	77,635
フェロ、マンガニース	13											13	13
フェロシリコン及シリコスピーゲルアイゼン							20					20	20
其他の不可鍛成鐵合金	7		18				8					33	33
シートバー(テインバーを含む)		965	2,493	5,235		499		1,121			1,222	11,535	11,535
インゴット、ブルーム、ヒレット及スラップ	1	100	3,179	1,145			4					4,429	4,429
ケツグスチール及バンブスチール	57						70					127	127
其他の塊及錠鐵													
合 計	78	1,065	5,690	6,380		499	102	1,121			1,222	16,157	16,157
銑 鐵	1,676						814	9,522	15,111	43,218	90	70,431	70,431
屑 及 故 鐵	3,335	67	1,083	1,350				19,133	560	7,124	10,250	42,902	42,902